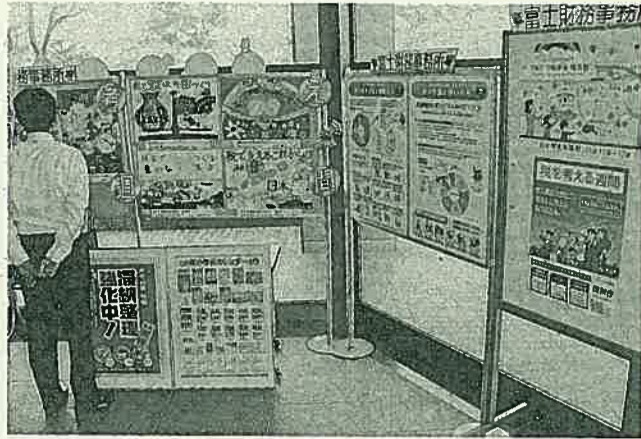


県税の使い道や状況紹介

税を考える週間に合わせ展示

11日から17日までの「税を考える週間」に合わせ、富士財務事務所は県税の使い道を示したパネル、税に関するポスター・習字コンクール入賞作品のコピーなどを展示し、市民の納税意識の向上を図っている。



パネルやコンクール入賞作品を紹介

県税の使い道や状況やパネル、税に関するポスター・習字コンクール入賞作品のコピーなどを展示し、市民の納税意識の向上を図っている。

県税の使い道や状況やパネル、税に関するポスター・習字コンクール入賞作品のコピーなどを展示し、市民の納税意識の向上を図っている。

会場では、県税に関するアンケートも実施。▽税金を納めるときにどのような方法が利用しやすいか▽県の税金について知りたいことがあるとき、どのような方法で情報を集めるかといった項目を設け、住民の税務行政に対する意見・要望を把握するための機会としている。回答者にはエコバッグやばんそうこ

うのプレゼントもある。税を考える週間は、市民に税の仕組みや使い道、必要性などを考えてもらい、国税や地方税に対する理解を深めてもらうことを目的に設けられた週間。期間中、同事務所ではタリーズ富士市中央公園店でもミニ広報展を行っている。

佐野ひもとく

東部開成会と研究会が講演

静岡県東部開成会と佐野ひもとく研究会は10日、佐野市中央町のラ・



高田さんによる講演

静岡県東部開成会と佐野ひもとく研究会は10日、佐野市中央町のラ・

静岡県東部開成会と佐野ひもとく研究会は10日、佐野市中央町のラ・

久沢東区(西川弘区)の榎橋近くの花壇「榎花壇」で9日、植栽作業が行われた。住民ボランティアの榎ふれ愛ガーデンをはじめ、同区の住民ら約20人が参加。パンジーとアリッサを植えて地域の美化に取り組んだ。同花壇では春と秋の2回、植栽作業が行

地域の花壇に彩りを

久沢東区 住民集い植栽作業



植栽作業を進める住民たち

川では何度も水害が起きてきたことを踏まえ、「サイガイニ マケナイ」の文字を盛り込んだ。黄、赤、紫のパンジーで文字を作り、周りを白のアリッサで縁取るデザインとした。参加者は配色通りに花を並べてから作業を開始。スコップで穴を掘ってポットから花を取り出し、傷めないように注意しながら丁寧に作業の手を進めた。同区では花の会が約30年前に設立されて活動を続けてきたが、会員の高齢化によって活動が停滞。同花壇も草が伸びて道路の見通しが悪くなるなどの影響があり、3年前からは住民の中島正和さん

勝亦文雄さんが共同代表となつて「榎ふれ愛ガーデン」を立ち上げて整備を続けている。植栽作業後には毎回郷土史や災害に関する講座を行つて地域力向上の場としているほか、ことし春の植栽作業からは久沢東区としても活動に参加し、花壇を管理している。西川区長は「地域住民の力によって復活した花壇。今後も住民全体で整備を続けていきたい」と話した。中島代表は「植栽は久沢東区が団結して取り組んでいる活動。地域住民が集まって交流を深めるような機会にしたい」と思いを語った。

富士陸上教室で記録会

練習の成果を確認(男子)

富士市陸上競技協会 第2回記録会を中野の「小学生のため 富士総合運動公園陸上の陸上教室」は9日、競技場で開いた。



記録更新への跳躍(3年以上男子走り幅跳び)

同教室に通う小学1〜6年生225人が参加。トラック種目をはじめ走り幅跳び、走り高跳び、ジャベリックボール投げなどに学年と男女別で取り組んだ。記録会は、日頃の練習の成果を發揮するとともに、本格的な陸上競技大会の雰囲気を感じてもらう目的で年2回開催している。

結果は次

- の通り。(敬称略)
- ▽1年50位:①飯野敦士(9秒29)②鈴木咲哉③松下周平④奥山鉄太⑤遠藤功大⑥笹井浩輝⑦望月亮吾
- ▽2年50位:①渡辺昭真(9秒28)②佐々木笙慈郎③大村涼太④佐野駿空⑤稲葉葵鈴⑥前橋恒太⑦原田雄生
- ▽1年100位:①高橋政宗(18秒77)②飯野敦士③松下周平④渡邊謙ノ輔⑤木下剣人⑥小澤吉樹⑦遠藤功大⑧佐野幹樹
- ▽2年100位:①一杉涼羽(16秒99)②高田



2年男子50位の力走

- ▽3年100位:①高田健吾(15秒50)②秋山幹翔③秋山太志④中山至音⑦那須須斗⑧鈴木至音
- ▽3年以上走り幅跳び:①悠吾②来山尚央③中村聖規④山崎大⑤濱田桂司⑦高橋一志⑧横田優

ぬまっち先生講演会

12月にホワイトパレス

世田谷小教諭 沼田晶弘氏

富士市青島町のJA富士市ホワイトパレスで12月21日(土)、東京学芸大附属世田谷小教諭の沼田晶弘さんを招いた「ぬまっち先生講演会」が開かれる。午後1時開演。同講演会実行委員会が主催。沼田さんは東京学芸大教育学部を卒業後、アメリカのインディアナ州立大学で学んでいた。同市で学業後、同州マンシー市名に連絡する。

富士市賞を受賞。スポーツ経営学の修士課程を修了後、大学職員などを経て2006年から現職となった。児童の自主性や自立性を引き出すユニークな授業はアクティブ・ラーニングの先駆けともいわれ、多数のメディアで紹介されている。当日は「家でできる『自信が持てる予』の育て方」をテーマに講演。▽「早くしなさい」と言う前に子供が自分から動く仕掛けとは▽勉強を「やりたくてたまらない」ものにする仕掛けとは▽失敗にくじけず立ち上がる力を作る仕掛けとはなどを伝える。入場料は500円。希望者は事前に同実行委員会(0623020)に連絡する。